



We Find the Way

IFRS適用に関する補足資料
(2022年12月期実績、2023年12月期予想)
2023年3月31日
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
経営企画部 IR推進室

1. 2022年12月期実績

- A. BS IFRS導入影響
- B. PL IFRS導入影響
- C. IFRS移行によるセグメントへの影響
- D. IFRS移行による減損損失への影響
- E. IFRS移行による財務指標への影響

2. 2023年12月期予想

- A. IFRS移行による連結通期予想への影響
- B. IFRS移行による日本通運への影響
- C. IFRS移行によるセグメントへの影響

3. IFRS導入に関わるQ&A

1 – A. BS IFRS導入影響（2022年12月末）

✓ 総資産は日本基準約1.7兆円からIFRSでは2.0兆円に増加。

（単位:億円）

✓ 主な増加要因は、国内会社のオペレーティング・リースのオンバランス等。

IFRS	主な差異	日本基準 2022年12月末		主な差異	IFRS
流動資産 9,078 (+587)	✓ サブリース債権増 +354 ✓ 営業債権増 (連結範囲の変更等) +240	流動資産 8,490	流動負債 5,921	✓ リース負債増 +560 ✓ 営業未払金増 (連結範囲の変更等) +183 ✓ 有給休暇債務計上 +275	流動負債 6,959 (+1,037)
非流動資産 11,673 (+2,855)	✓ 使用権資産増 +2,138 ✓ 有形固定資産 (投資不動産への振替等) △ 239 ✓ 投資不動産 (固定資産からの振替含む) +707	固定資産 8,818	固定負債 3,674	✓ リース負債増 +2,209	非流動負債 6,001 (+2,326)
			負債合計 9,596		負債合計 12,960 (+3,364)
			純資産 7,712	✓ その他有価証券評価差額金 (非上場株式時価評価等) +136	資本 7,791 (+78)
資産合計 20,751 (+3,442)		資産合計 17,309	負債・純資産計 17,309		負債・資本合計 20,751 (+3,442)

1 - B. PL IFRS導入影響（2022年1月～12月）

✓ IFRSでは営業外損益、特別損益の項目がなく、営業利益、当期純利益の概念も異なる。

✓ 利益が相違する主な要因は、のれんの非償却、有価証券売却損益、退職給付未認識差異のPL非計上等。

（単位:億円）

日本基準 表示科目	日本基準 (億円)		IFRS 表示科目	IFRS (億円)	対日本基準 増減 (億円)
売上高	26,197	売上収益への影響 ・ サブリース会計処理変更による影響 売上と売上原価のネット△66億円 ・ NX商事連結範囲の変更影響 (海外子会社+8社) +66億円	売上収益	26,186	△10
売上原価	23,539		売上原価	23,428	△111
売上総利益	2,658		売上総利益	2,758	100
販売費及び一般管理費	1,370	売上原価への影響 ・ サブリース会計処理変更による影響 売上と売上原価のネット△66億円 ・ 退職給付の未認識差異のPL非計上△36億円	販売費及び一般管理費	1,382	12
営業利益	1,287		その他の収益	702	-
営業外収益	142		その他の費用	527	
営業外費用	56	営業利益への影響 ・ のれんの償却停止影響 +11億円 ・ 営業外収益・費用、特別損益 (金融収益、費用除く) の区分変更 +179億円	持分法による投資損益	3	
経常利益	1,373		営業利益	1,555	267
特別利益	741		金融収益	93	-
特別損失	473	税引前利益への影響 ・ 有価証券売却益のPL非計上 △38億円	金融費用	47	
税引前利益	1,640		税引前利益	1,601	△39
法人税等	510		法人税等	485	△24
当期純利益	1,130		当期純利益	1,115	△14
非支配持分利益	32		非支配持分利益	32	0
親会社株主利益	1,098		親会社株主利益	1,083	△14

・FY2022 IFRS基準の連結セグメント利益（事業利益）[※]は、1,375億円です。

※従来の営業利益相当額

1 - C. IFRS移行によるセグメントへの影響（2022年1月～12月）

セグメント別影響（1月～12月）

セグメント別影響（1月～12月）

(百万円)

		IFRS	日本基準	増減	
				額	率
売上収益	ロジスティクス-日本	1,450,991	1,457,283	△ 6,291	△ 0.4
	米州	162,080	162,080	—	—
	欧州	215,707	215,697	9	0.0
	東アジア	241,529	242,009	△ 480	△ 0.2
	南アジア・オセアニア	221,886	221,854	31	0.0
	ロジスティクス-海外計	841,203	841,642	△ 439	△ 0.1
	警備輸送	68,088	68,478	△ 389	△ 0.6
	重量品建設	44,542	44,542	—	—
	物流サポート	421,609	414,836	6,773	1.6
	計	2,826,435	2,826,783	△ 347	△ 0.0
	調整額	△ 207,775	△ 207,037	△ 738	—
	連結売上収益	2,618,659	2,619,746	△ 1,086	△ 0.0

		IFRS	日本基準	増減	
				額	率
セグメント利益（事業利益）	ロジスティクス-日本	71,444	65,848	5,596	8.5
	米州	13,751	13,300	450	3.4
	欧州	12,546	12,431	115	0.9
	東アジア	12,818	12,426	391	3.2
	南アジア・オセアニア	20,098	20,019	79	0.4
	ロジスティクス-海外計	59,215	58,178	1,037	1.8
	警備輸送	3,110	990	2,119	213.9
	重量品建設	6,391	6,301	89	1.4
	物流サポート	16,435	16,333	101	0.6
	計	156,597	147,652	8,944	6.1
	調整額	△ 19,047	△ 18,936	△ 111	—
連結セグメント利益（事業利益）		137,550	128,716	8,833	6.9

1－D. IFRS移行による減損損失への影響（2022年1月～12月）

※損失ベース（単位:百万円）

	項目	IFRS	日本基準	増減
減損内訳	医薬品事業	19,978	15,799	4,178
	新・国際航空貨物基幹システム	15,461	15,461	—
	警備輸送事業	0	2,558	△2,558
	米国MD社のれん	3,226	2,704	522
	その他	740	764	△23
合計		39,406	37,287	2,118

1 – E. IFRS移行による財務指標への影響（2022年1月～12月）

区分	連結	
	IFRS	日本基準
総資産利益率（ROA）	5.4%	6.6%
自己資本利益率（ROE）	15.5%	15.9%

区分	連結	
	IFRS	日本基準
売上高営業利益率	5.9%	4.9%
売上高純利益率	4.1%	4.2%
デッドエクイティレシオ	0.84倍	0.47倍
自己資本比率	36.5%	43.2%
一株あたりの純資産	8,485.15円	8,391.95円
一株あたりの当期純利益	1,202.34円	1,218.89円

2-A. IFRS移行による連結通期予想への影響（2023年1月～12月）

【連結】

（単位：百万円）

	上半期			下半期			通期		
	IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額
売上収益	1,224,000	1,224,000	—	1,226,000	1,226,000	—	2,450,000	2,450,000	—
連結セグメント利益 （事業利益）	56,500	53,000	3,500	60,500	57,000	3,500	117,000	110,000	7,000
営業利益	55,500			49,500			105,000		
税引前利益	54,500			48,500			103,000		
親会社の所有者に 帰属する当期利益	38,000	36,000	2,000	34,000	39,000	△ 5,000	72,000	75,000	△ 3,000

（増減内訳）

（連結）セグメント利益	通期
退職給付引当金（未認識数理計算上の差異非償却等）	3,000
減価償却費（前年以前減損追加分）	1,800
のれん非償却	650
退職給付・リースに係る利息費用	2,300
減価償却費（帳簿価額修正）	1,000
その他	△ 1,750
対日本基準	7,000

当期純利益	通期
営業利益増減	7,000
退職給付・リースに係る利息費用	△ 2,300
政策保有株売却益	△ 10,000
その他（法人税等の増減含む）	2,300
対日本基準	△ 3,000

2－B. IFRS移行による日本通運への影響（2023年1月～12月）

【日本通運】

（単位：百万円）

	上半期			下半期			通期		
	IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額
売上収益	615,000	615,000	—	625,000	625,000	—	1,240,000	1,240,000	—
連結セグメント利益 (事業利益)	25,000	22,500	2,500	24,000	21,500	2,500	49,000	44,000	5,000
営業利益	21,000			20,000			41,000		
税引前利益	25,000			19,000			44,000		
当期利益	18,500	17,000	1,500	14,500	13,000	1,500	33,000	30,000	3,000

（増減内訳）

（連結）セグメント利益	通期
退職給付引当金（未認識数理計算上の差異非償却等）	2,800
減価償却費（前年以前減損追加分）	600
のれん非償却	—
退職給付・リースに係る利息費用	2,000
減価償却費（帳簿価額修正）	1,000
その他	△ 1,400
対日本基準	5,000

当期純利益	通期
営業利益増減	5,000
退職給付・リースに係る利息費用	△ 2,000
政策保有株売却益	—
その他（法人税等の増減含む）	—
対日本基準	3,000

2-C. IFRS移行によるセグメントへの影響（2023年1月～12月）

セグメント別影響（1月～12月）

（単位：百万円、％）

		上半期			下半期			通期		
		IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額
連結売上収益	ロジスティクス-日本	694,300	694,300	-	711,100	711,100	-	1,405,400	1,405,400	-
	米州	78,700	78,700	-	79,400	79,400	-	158,100	158,100	-
	欧州	92,100	92,100	-	89,200	89,200	-	181,300	181,300	-
	東アジア	99,400	99,400	-	103,700	103,700	-	203,100	203,100	-
	南アジア・オセアニア	83,000	83,000	-	77,200	77,200	-	160,200	160,200	-
	ロジスティクス-海外計	353,200	353,200	-	349,500	349,500	-	702,700	702,700	-
	警備輸送	34,500	34,500	-	34,500	34,500	-	69,000	69,000	-
	重量品建設	26,000	26,000	-	21,000	21,000	-	47,000	47,000	-
	物流サポート	213,500	213,500	-	208,700	208,700	-	422,200	422,200	-
	計	1,321,500	1,321,500	-	1,324,800	1,324,800	-	2,646,300	2,646,300	-
	調整額	△ 97,500	△ 97,500	-	△ 98,800	△ 98,800	-	△ 196,300	△ 196,300	-
	連結売上収益	1,224,000	1,224,000	-	1,226,000	1,226,000	-	2,450,000	2,450,000	-

		上半期			下半期			通期		
		IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額	IFRS	日本基準	影響額
連結セグメント利益	ロジスティクス-日本	33,400	30,600	2,800	34,200	31,400	2,800	67,600	62,000	5,600
	米州	5,300	5,300	-	6,000	6,000	-	11,300	11,300	-
	欧州	3,900	3,900	-	5,100	5,100	-	9,000	9,000	-
	東アジア	4,000	4,000	-	4,900	4,900	-	8,900	8,900	-
	南アジア・オセアニア	5,200	5,200	-	5,200	5,200	-	10,400	10,400	-
	ロジスティクス-海外計	18,400	18,400	-	21,200	21,200	-	39,600	39,600	-
	警備輸送	1,900	1,300	600	1,700	1,100	600	3,600	2,400	1,200
	重量品建設	2,800	2,700	100	3,000	2,900	100	5,800	5,600	200
	物流サポート	7,000	7,000	-	7,600	7,600	-	14,600	14,600	-
	計	63,500	60,000	3,500	67,700	64,200	3,500	131,200	124,200	7,000
	調整額	△ 7,000	△ 7,000	-	△ 7,200	△ 7,200	-	△ 14,200	△ 14,200	-
	連結セグメント利益	56,500	53,000	3,500	60,500	57,000	3,500	117,000	110,000	7,000

3. IFRS導入に関わるQ&A

Q1：IFRS移行による主な影響について教えて欲しい

A1：

- ・BS影響

主な増加要因は国内会社のオペレーティング・リースのオンバランス等で総資産は日本基準約1.7兆円からIFRSでは2.0兆円に増加します。

- ・PL影響

IFRSでは営業外損益、特別損益の項目がなく、営業利益、当期純利益の概念も異なります。利益が相違する主な要因は、のれんの非償却、有価証券売却損益、退職給付未認識差異のPL非計上等です。

3. IFRS導入に関わるQ&A

Q 2 : IFRS基準の営業利益、連結セグメント利益（事業利益)について説明して欲しい。

A 2 :

- ・IFRS 基準の「営業利益」には、日本基準で「営業外収益」、「営業外費用」、「特別利益」、「特別損失」として表示していた科目のうち、金融取引に関連する項目以外が含まれます。
- ・連結セグメント利益（事業利益）は、IFRS基準の売上収益から売上原価と販管費及び一般管理費を控除して算出しています。日本基準の営業利益に相当するものとなります。

3. IFRS導入に関わるQ&A

Q 3：2022年12月期日本基準とIFRS基準のセグメント情報（売上収益、セグメント利益（事業利益））の主な増減内容について教えて欲しい。（資料P4関連）

A 3：

- ・「ロジスティクス - 日本」の売上収益△62億円は、主としてサブリース取引で賃貸収入と費用をネット処理した影響によるものです。セグメント利益（事業利益）＋55億円は、退職給付費用の未認識差異のP L 非計上の影響などが主な理由です。
- ・「警備輸送」のセグメント利益（事業利益）の＋21億円は、減損処理によりリース償却費用が減少したことが主な理由です。
- ・「物流サポート」の売上収益＋67億円の増加は、N X 商事の海外子会社（8社）を連結範囲に拡大したことが主な理由です。

3. IFRS導入に関わるQ&A

Q 4 : 医薬品の減損損失計上額が、日本基準157億円からIFRS基準では199億円となっているが、増加の理由を教えて欲しい。

A 4 : 日本基準ではオンバランスされていない、土地、建物などのオペレーティング・リースがIFRSではオンバランスされ、減損損失額を再計算した結果、当該損失額199億円となります。

3. IFRS導入に関わるQ&A

Q5：会計基準を変更されるが、経営計画の目標値（経営計画2023）もIFRS基準に変更するのか。

A5：経営計画の目標値は変更せず（IFRS基準の目標設定はしない）、IFRS基準の数値を日本基準に置きなおしたプロフォーマ日本基準数値（IFRS基準と日本基準の主な差異を修正した数値）により評価します。なお同プロフォーマ数値は各四半期毎に開示する予定です。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。
万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、
弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。